資料３

③子ども・子育てを取り巻く現状と課題について

【関連資料③】

「新させぼっ子未来プラン」の進捗状況の資料データ〔アンケート結果〕

○「まちづくり市民意識アンケート調査」の結果概要・・・・・・・・・・・P. 1

○「子ども・子育てに関する市民意識アンケート調査」の結果概要・・・・P. 6

○調査概要

１. 調査目的

本調査は、ライフスタイルの変化等に伴い、多種多様化する市民意識・意向を的確に把握し、策定した第６次佐世保市総合計画（ひと・まち育む元気プラン）の目標に対する進捗状況を把握するために実施するもの。

２. 実施時期

平成３０年４月２３日（月）～５月１１日（金）

３. 調査対象

市内在住の満１６歳以上の市民３，５００人

４. 抽出方法

地区別無作為抽出法

５. 調査方法

郵送式自記入式アンケート調査

６. 標本数及び配布回収結果

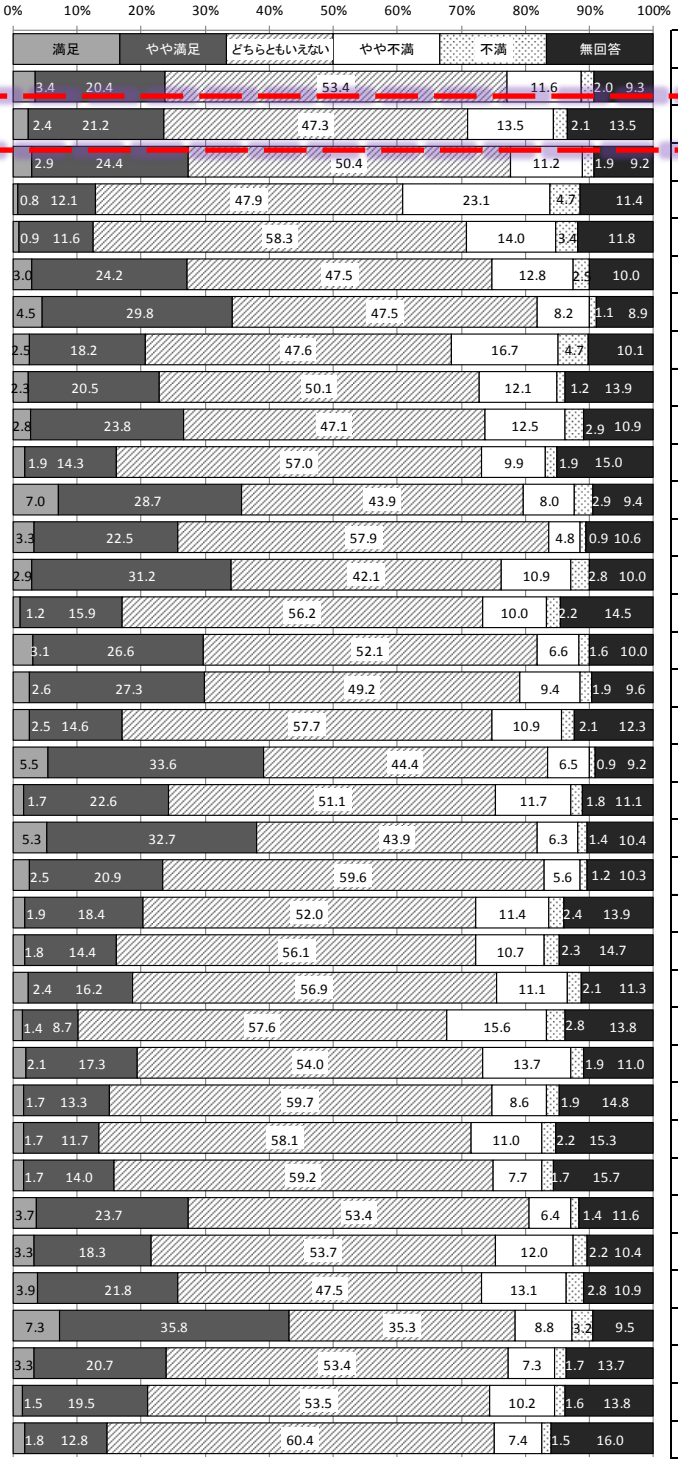
本調査では、人口の少ない地域においても、人口比にかかわらず一定数の調査票を配布することで、地域ごとの傾向を把握するために必要な有効回答数を確保しようとした。ただし、市全体や他の属性別の分析をする際には、分析結果に人口の少ない地域の意見が過度に影響をおよぼさないよう、その影響に配慮して集計を行った（ウエイトバック集計）。従って、居住地域別の分析においては、有効回答数は１，１３８件となるが、それ以外の分析においては、有効回答数は１，１０９件（ウエイトバック後）となる。

	地区別人口 (A)	人口比 (B)	無作為人数(C) =3,500名×(B)	サンプル数 （送付数）	有効回答数	回収率	ウエイト値	ｳｴｲﾄﾊﾞｯｸ後 のサンプル数
本庁管内(支所管内以外)	71,518	33.4%	1,168	952	254	26.7%	1.457	370
相浦支所管内	23,881	11.1%	390	318	122	38.4%	1.013	124
中里・皆瀬支所管内	10,036	4.7%	164	135	47	34.8%	1.104	52
黒島支所管内	438	0.2%	7	100	31	31.0%	0.072	2
大野支所管内	15,889	7.4%	259	212	72	34.0%	1.141	82
柚木支所管内	3,635	1.7%	59	100	26	26.0%	0.725	19
日宇支所管内	23,927	11.2%	391	320	113	35.3%	1.095	124
早岐支所管内	27,239	12.7%	445	363	131	36.1%	1.075	141
江上支所管内	5,896	2.7%	96	100	25	25.0%	1.220	30
針尾支所管内	2,284	1.1%	37	100	28	28.0%	0.424	12
三川内支所管内	3,597	1.7%	59	100	42	42.0%	0.444	19
宮支所管内	2,657	1.2%	43	100	31	31.0%	0.444	14
吉井支所管内	4,657	2.2%	76	100	30	30.0%	0.802	24
世知原支所管内	2,883	1.3%	47	100	33	33.0%	0.450	15
小佐々支所管内	5,258	2.5%	86	100	35	35.0%	0.776	27
江迎支所管内	4,603	2.1%	75	100	40	40.0%	0.596	24
鹿町支所管内	4,019	1.9%	65	100	21	21.0%	0.988	21
宇久行政センター管内	1,984	0.9%	33	100	28	28.0%	0.368	10
無回答	－	－	－	－	29	－	－	－
合計	214,401	100.0%	3,500	3,500	1,138	32.5%	－	1,109

○今後のまちづくりにおける重要分野とその項目の満足度

まちづくりの 37 分野の中から「特に重要」と思うもののベスト 5 は、「高齢者福祉」（38.2%）が最も多く、次いで「子育て支援」(35.6%)、「防災対策」（30.4%）、「雇用環境」(30.2%)、「地場企業の振興」(26.6%)の順となっている。また、満足度のベスト５は、「循環型のまちづくり」(43.1%)、「消防救急救助」(39.1%)、「環境に配慮したまちづくり」(38.0%)、「水の安定供給」(35.7%)、「健康づくり」(34.3%)となっている。

図２－１

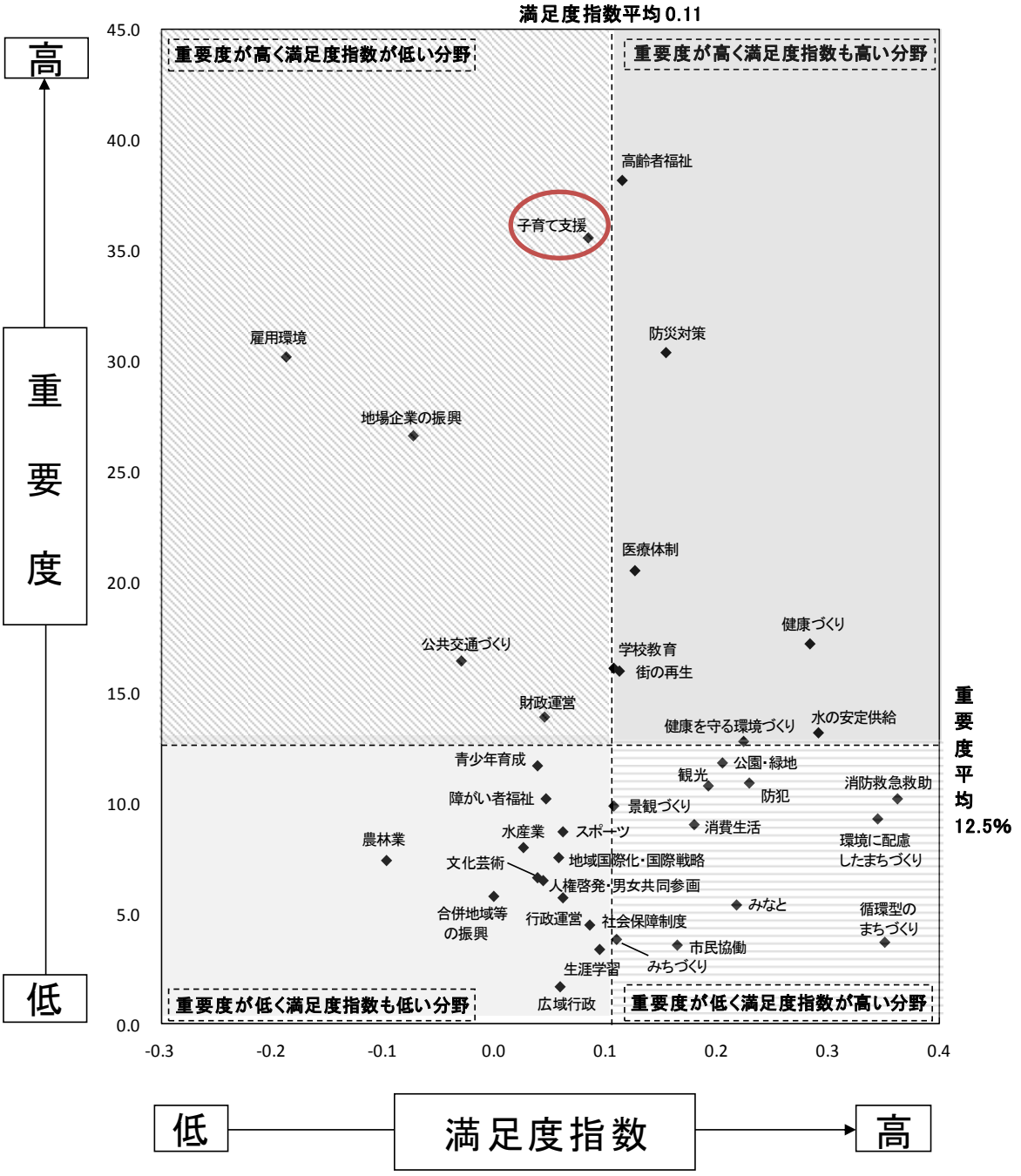


	重要度（%）	満足度（%）	不満度（%）	満足度指数
高齢者福祉	38.2	23.8	13.6	0.11
子育て支援	35.6	23.6	15.6	0.08
防災対策	30.4	27.3	13.1	0.15
雇用環境	30.2	12.9	27.8	−0.19
地場企業の振興	26.6	12.5	17.4	−0.07
医療体制	20.5	27.2	15.3	0.13
健康づくり	17.2	34.3	9.3	0.28
公共交通づくり	16.4	20.7	21.4	−0.03
学校教育	16.1	22.8	13.3	0.11
街の再生	16.0	26.6	15.4	0.11
財政運営	13.9	16.2	11.8	0.04
水の安定供給	13.2	35.7	10.9	0.29
健康を守る環境づくり	12.8	25.8	5.7	0.22
公園・緑地	11.8	34.1	13.7	0.20
青少年育成	11.7	17.1	12.2	0.04
防犯	10.9	29.7	8.2	0.23
観光	10.8	29.9	11.3	0.19
障がい者福祉	10.2	17.1	13.0	0.05
消防救急救助	10.2	39.1	7.4	0.36
景観づくり	9.9	24.3	13.5	0.11
環境に配慮したまちづくり	9.3	38.0	7.7	0.34
消費生活	9.0	23.4	6.8	0.18
スポーツ	8.7	20.3	13.8	0.06
水産業	8.0	16.2	13.0	0.03
地域国際化・国際戦略	7.5	18.6	13.2	0.06
農林業	7.4	10.1	18.4	−0.10
文化芸術	6.6	19.4	15.6	0.04
人権啓発・男女共同参画	6.5	15.0	10.5	0.04
合併地域等の振興	5.8	13.4	13.2	0.00
行政運営	5.7	15.7	9.4	0.06
みなと	5.4	27.4	7.8	0.22
社会保障制度	4.5	21.6	14.2	0.08
みちづくり	3.8	25.7	15.9	0.11
循環型のまちづくり	3.7	43.1	12.0	0.35
市民協働	3.6	24.0	9.0	0.16
生涯学習	3.4	21.0	11.8	0.09
広域行政	1.7	14.6	8.9	0.06

※１「満足度」は、「満足」と「やや満足」の率の和。※２「不満度」は、「不満」と「やや不満」の率の和。
※３「満足度指数」は、満足度と不満度を一体的に数値化したものであり、「満足」の回答を２点、「やや満足」を１点、「どちらともいえない」を０点、「やや不満」を－１点、「不満」を－２点として得点化し、回答数で割り戻した数値。

○各分野における重要度と満足度指数の関係

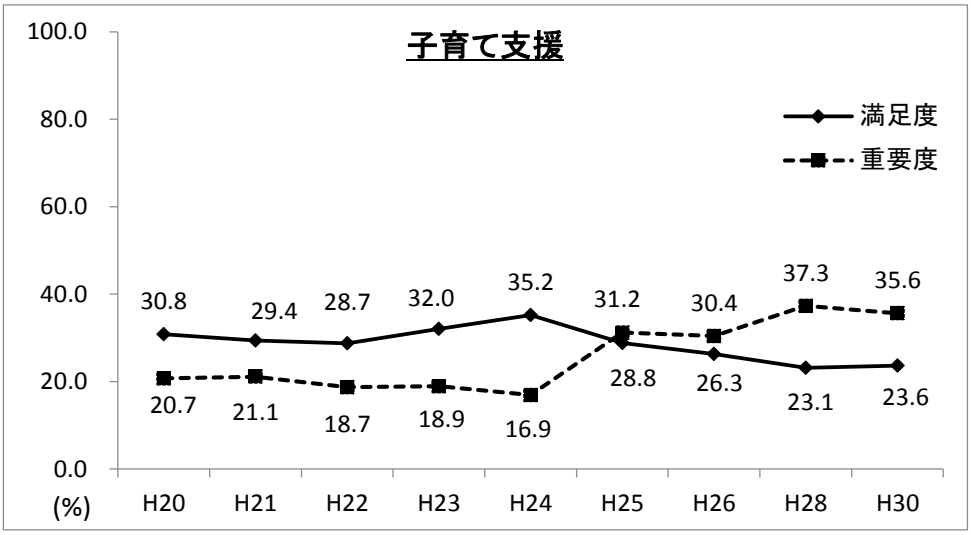
37 分野における重要度と満足度指数の関係をみると重要度が高く満足度指数も高い分野には、「高齢者福祉」、「防災対策」、「医療体制」などがある。一方、重要度が高いのに満足度指数が低い分野には、「子育て支援」、「雇用環境」、「地場企業の振興」、「公共交通づくり」などがある。



○重要度・満足度の経年比較

・満足度と重要度の経年比較では、「子育て支援」の重要度はH25 年度に大きく増加しH28 年度もさらに増加したものの H30 年度は減少している。満足度はH24 年度をピークにその後減少していているが H30 年度は増加している。「学校教育」の重要度はH25 年度に増加したが H30 年度は減少している。満足度はH24 年度をピークにその後減少している。「青少年育成」の重要度はほぼ横這いであるのに対し、満足度はH24 年度ピークにその後減少している。「生涯学習」の重要度はほぼ横這いであるのに対し、満足度はH24 年度の増加を除いて概ね減少傾向にある。「スポーツ」の重要度は全体的にやや増加傾向にある一方、満足度は H25 年度以降、減少傾向にある。「人権啓発・男女共同参画」の重要度はH24 年度以降やや増加しており、満足度はH23 年度に増加して以降 16%後半から 19%半ばの間で推移していたが H30 年度は 15%に減少している。

図３－６４



○子ども・子育てに関する自由意見

分類	No	自由意見（抜粋）
子育て環境	1	・初めての子育ての方は何もわからないため、どこに行けばいいのか、どのようにすればいいのか、すぐにだれもがわかるような情報提供が必要。
	2	・他県から越してきたが、子供が病院にかかる時に費用が発生する事や妊婦検診も数回しか無料でないことに驚いた。
	3	・病院や子供が遊ぶ支援センターの駐車場も数が少なすぎて費用も実費なので、２時間以内は無料など、対策をして欲しい。
	4	・保育園幼稚園の充実は少しずつ図られていると感じる。
	5	・子供を短時間あずけたりできる所がもう少しあると助かる。
	6	・子育てに対する医療の無償化を要望する。
	7	・子育ての経済的負担の軽減はもっとするべき。
	8	・育休がとりにくい。名ばかりになっている（特に夫）。
	9	・核家族で子育ても閉鎖的になっていると思う。
	10	・子育て環境の充実及び支援に父親の育児参加は欠かせない。
	11	・子供達が安心して遊べる公園を身近に作って欲しい。
地域子育て支援	12	・未来を担う子ども達、もっと手厚い支援・援助があってよいと思う。
	13	・シニア世代の方々の助けを借り、市・市民の力を活用したらよいのではないか？
	14	・佐世保市と言うより、身近な地域が重要。自治協議会が今後何らかの形で機能し地域が家族という感覚を根付かせる企画が必要。
子育・仕事 両立支援	15	・実家が佐世保の人は問題は無いが県外又は他人に頼れない人にとっては託児所等が少なく、あったとしても保育料が高く働きに出ても割に合わない人が多いと感じる。
	16	・子供を育てながら安心して働ける環境が必要だと思う。
	17	・私達が子育てしていた頃より、学童保育等の夫婦共働きでも子供を預ける環境は良くなっていると感じる。（３０年前は学童保育してもらえる所はあまりなかった）
	18	・転勤族で他県の病児保育を利用していた者からすると佐世保の病児保育は働く母親にとってあまりに助けになっていない。
その他	19	・放課後、児童クラブは学校の空き教室を使用した方が良いと思う。なぜ出来ないのかわからない。移動が安全だと思う。
	20	・保育所の利用等、権利の主張が強く、助け合いの精神を持たない親が多い。
	21	・若い子育てしたい町を県と共に創るべき。
	22	・子育てしたことが無いので全くわからないが、引越ししてきた当初、ここまで不妊治療をしている病院の少なさに驚いた。
	23	・子育てや家庭での悩みなど抱えてる方は沢山いると思うので談話会のような集まりが定期的に開かられたら安心した社会づくりにつながると思う。

平成２９年度「子どもと子育てに関する市民意識アンケート調査について

佐世保市子ども未来部では子育て中の保護者の方を対象として、「子育てしやすい街づくりのためのアンケート調査～子どもと子育てに関する市民意識調査～」を実施しました。

その内容としては

「２人目の壁（※）は実際に存在すると思いますか？」

「２人目以上のお子さんを持つことに対してのためらいは？」

「産休や育休を取るときに気になることは？」

このような質問項目を設け、妊娠、出産、子育てや仕事の両立などについて、市民の皆さんから率直なご意見をいただき、その調査結果を基に「1人目の出産年齢」「世帯の合計年収」「ママの就業状況」等によって、どのような違いがあるのか分析を行いました。

※「２人目の壁」とは、「必要となる生活費や教育費に関連した家計の見通しや、仕事等の環境、年齢等を考慮し、第２子以後の出産をためらうこと」です。

●調査概要

調査期間：平成29年8月25日（金）～ 9月22日（金）

調査方法：市ホームページでのＷｅｂアンケート

調査対象：市内在住で子育て中の保護者の方（20歳～49歳）

質問項目：31問

●回答者数：596人

回答者内訳	フルタイム勤務ママ	221人
	パートタイム勤務ママ	132人
	専業主婦ママ	122人
	働くパパ	101人
	専業主夫パパ	1人
	その他	19人

調査結果分析概要

1 出産における理想と現実について

子どもの数の理想と現実を埋めるポイントは、1人目の出産年齢

持ちたい子どもの数について尋ねたところ、理想は「3人」（57.7%）が最も多く、次いで「2人」（32.0%）であるが、実際に持つ（予定）は「2人」（56.8%）、「3人」（28.4%）となっており、理想と現実のギャップがあることがわかりました。

実際に持つ(予定）の子どもの数で最も違いがあるのは1人目の出産年齢で、「20歳～24歳」では2人以上を望む割合が90.9%と高くなっているが、出産年齢が高くなるほど2人以上を望む割合が低くなることがわかりました。

また、世帯の合計収入では、300万円より低くなると2人以上を望む割合が低くなり、ママから見たパパの休日の家事・育児にかける時間が多くなるほど、2人以上を望む割合が高くなることがわかりました。

2「2人目の壁」について

「2人目の壁」を感じるポイントは、「年齢」「家計」「仕事との両立」

「2人目の壁」を感じるか尋ねたところ、「感じる（感じた）、あるいは、感じそう」と「やや感じる（感じた）、あるいは、感じそう」の合計は65.5%で昨年度の54.8%より増加していました。

1人目の出産年齢でみると、出産年齢が高くなるほど「2人目の壁」を感じる割合が高くなり、世帯の合計収入では400万円より低くなると、「2人目の壁」を感じる割合が高くなることがわかりました。

ママが「2人目の壁」を感じる理由では、パートタイム勤務ママの「子育てや教育など家計の見通し」（92.0%）、フルタイム勤務ママの「産休取得など仕事への影響」（62.5%）について、他のママより割合が高くなっていることがわかりました。また、「出産・子育ての年齢的な理由」が全体の3位（44.4%）となっており、年齢についても「2人目の壁」を感じる大きな要素となっていることがうかがえます。

3「出産・子育て」と「働き方」について

子どもをもう1人持つためには、「柔軟な働き方」「職場の理解」「保活」がポイントに

働く時間や場所を自由に選べれば、もう1人子どもを持ちたいか尋ねた結果、「はい」は全体が60.1%、子ども1人の方が82.7%でした。また、「保活」がなければ、もう1人子どもを持ちたいか尋ねた結果、「はい」は全体が47.8%、子ども1人の方が73.5%でした。働くママに制度と企業風土が整えば働き続けたいか尋ねた結果、「はい」は全体が94.1%、子ども1人の方が96.9%でした。これらのことから、子ども1人の方は、子どもが2人以上の方よりも条件が整えばもう1人子どもを持ちたいと考えていることがうかがえます。

産休や育休を取得するにあたって気になることを尋ねたところ、「上司の目（態度・反応）が気になる(気になった）」（43.6%）、「同僚の目（態度・反応）が気になる(気になった）」（41.2%）、「職場に取りづらい空気がある」（26.7%）の割合が高く、育休取得の理想の条件では「保活の心配がいらない」（50.7%）、「育休を取得することがキャリアのマイナスにならない」（46.3%）、「育休期間中に定期的に会社とコミュニケーションをとれて、職場から孤立しない」（45.2%）の割合が高いことがわかりました。また、育休から復帰するときの理想の条件を尋ねたところ、「子どもの看護や行事のために休暇をとれる」（81.7%）、「短時間勤務（時短）で働ける」（43.2%）、「深夜残業や休日出勤をしなくてよい」（37.9%）の割合が高いことがわかりました。

4 佐世保市は子どもを「産みやすい」「育てやすい」街に近づいているか？

5割以上が「産みやすい」「育てやすい」街に近づいていると思っているが、地域や子どもの人数によって違いがある

佐世保市が子どもを「産みやすい」「育てやすい」街に近づいていると思うか尋ねたところ、「近づいていると思う」、「どちらかといえば、近づいていると思う」の合計は、どちらも55.6%でした。

回答者の居住地区でみると南部地区が最も高く、北部になるほど低くなっており、現在の子ども数でみると「子ども1人」が最も高く、子どもが多いほど低くなっていることから、居住地区や子どもの数によって違いがあることがわかりました。

2016年 「子どもと子育てに関する市民意識調査」集計結果報告書

佐世保市では、様々な環境の変化に対応するため、子どもと子育てに関するあらゆる意識や実態を把握することを目的として、「市民意識調査」を実施しました。この報告書は、調査結果を取りまとめたものです。

《調査概要》
- 調査方法：インターネット調査 《 回答総数 366 件 》
- 調査対象者：現在、佐世保市にお住まいで子育て中の保護者（20～49 歳の方）
- 調査期間：平成 28 年 8 月 26 日（金）～9 月 19 日（月）

《 アンケートの回答者 》

62.5%	母親
37.2%	父親

《 理想的な子どもの数 》

1.4%	1 人
33.3%	2 人
60.6%	3 人
3.3%	4 人

平均 2.70 人

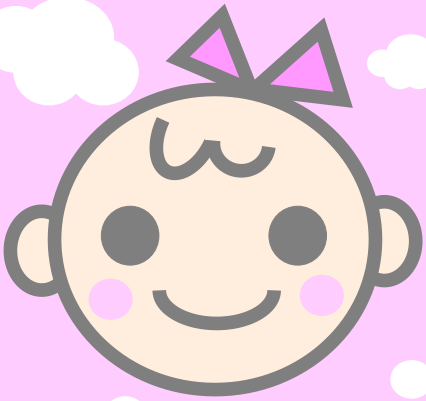
《 実際に持つ予定の子どもの数 》

15.6%	1 人
50.3%	2 人
29.8%	3 人
4.3%	4 人

平均 2.23 人

「２人目の壁」とは、ここでは「様々な理由で、２人目の子どもを持つことをためらってしまうこと」としていますが、「２人目の壁」を感じている割合が半数以上になっています。

一方で、子どもを持ったことでの幸福感や子育てをしている満足感は、90%以上の方が感じられています。



《「２人目の壁」を感じたかどうか 》

54.8%	感じた やや感じた
45.2%	感じなかった あまり感じなかった

《「２人目の壁」を感じた理由 》

71.9%	子育てや教育など家計の見通し
37.4%	出産・子育ての年齢的な理由
32.2%	産休取得など仕事への影響
31.4%	育児のストレスなど

《２人以上子どもを産んでよかったこと》

85.7%	兄弟姉妹で遊べるようになった
79.9%	にぎやかで楽しくなった
44.0%	性別の違う子どもが育てられた

《 今、子育てをしている満足感 》

91.2%	満足している やや満足している
8.8%	不満を感じている やや不満を感じている

《２人目以降の子どもを持つきっかけ》

45.5%	１人目のことを考えて決めた
42.2%	もともとそういう計画だった
35.8%	産むなら今しかないと感じた
26.9%	パートナーとの話し合いで決めた

《子どもを持ったことでの家族の幸福感》

98.9%	幸せを感じている やや幸せを感じている
1.1%	幸せを感じられない あまり幸せを感じられない

《 子育てに関して当てはまること 》

55.2%	①パートナーとは仲がいいと実感
51.1%	②１日１回は家族全員で食事
50.3%	③子どもの将来や成長を夫婦で話すのは楽しい

佐世保市役所 子ども未来部 子ども政策課

2016年

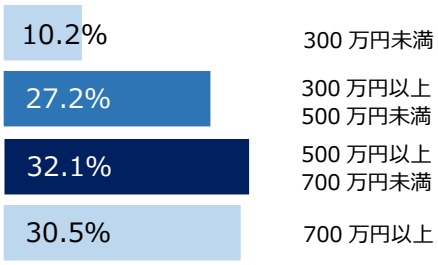
「子育て世帯の生活に関する調査」集計結果報告書

佐世保市では、様々な環境の変化に対応するため、子どもと子育てに関するあらゆる意識や実態を把握することを目的として、「生活環境調査」を実施しました。この報告書は、調査結果を取りまとめたものです。

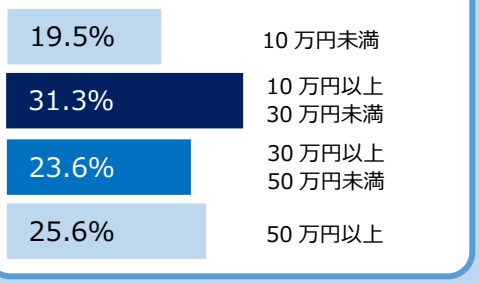
《調査概要》

- 調査方法：インターネット調査 《 回答総数 266 件 》
- 調査対象者：現在、佐世保市にお住まいで子育て中の保護者（20～49 歳の方）
- 調査期間：平成 28 年 8 月 26 日（金）～9 月 19 日（月）

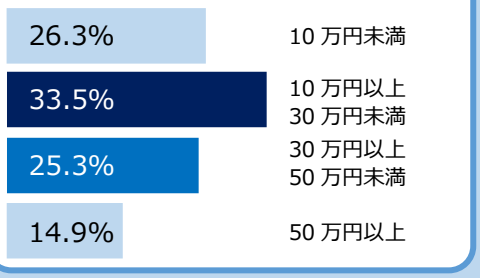
《 回答者の世帯収入 》



《 一番上の子の子育て費用 》



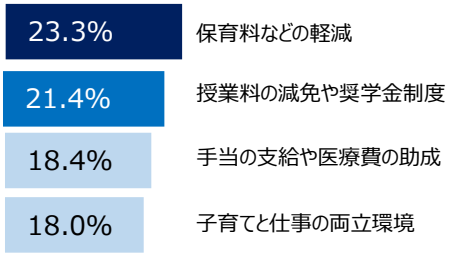
《 一番下の子の子育て費用 》



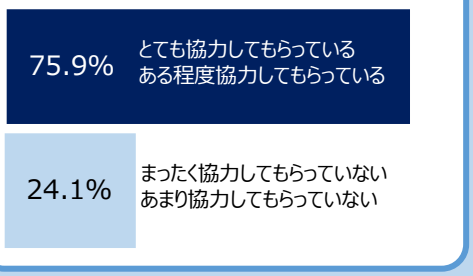
子育てで大変なことやこれから心配なことは、いずれも「子育ての経済的負担」となっており、求められている子育て支援も、上位３項目が経済的支援制度になっています。

また、現在大変なことは、保育園や幼稚園の保育料ですが、これから心配になることは、大学の授業料や１人暮らしにかかる生活費との回答が最も多くなっています。

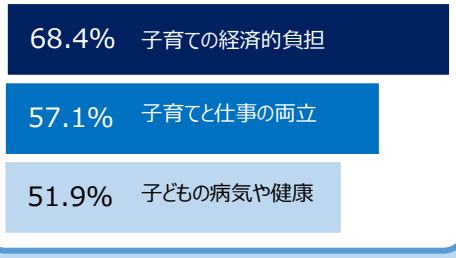
《 一番求めている子育て支援 》



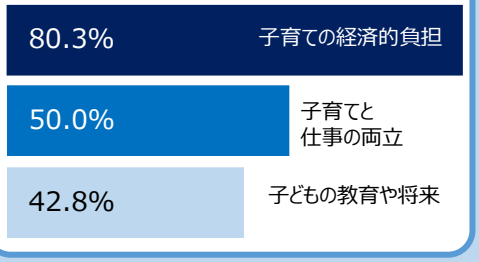
《子育て費用以外での祖父母の協力》



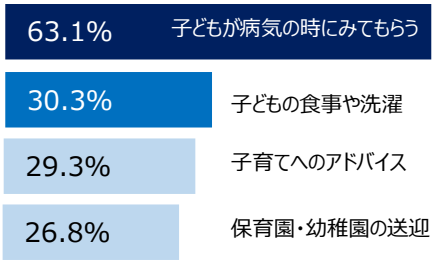
《 子育てで大変だと感じること 》



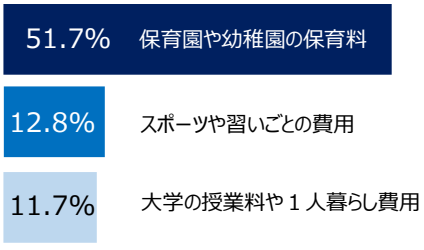
《 子育てでこれから心配なこと 》



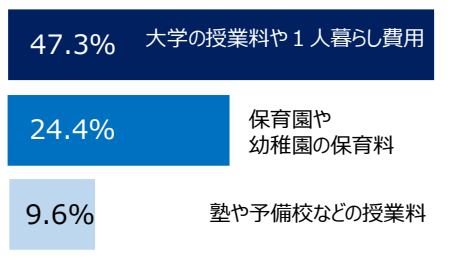
《祖父母に協力してもらっていること》



《子育てでお金がかかって大変なこと》



《子育てでお金がかかることで心配なこと》



佐世保市役所　子ども未来部　子ども政策課

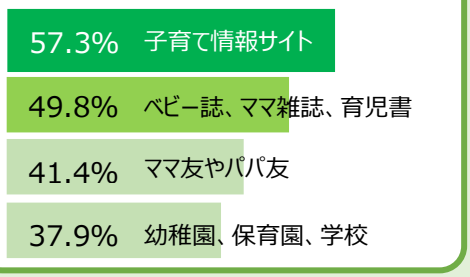
2016年 「子どもと子育てを取り巻く地域環境に関する調査」集計結果報告書

佐世保市では、様々な環境の変化に対応するため、子どもと子育てに関するあらゆる意識や実態を把握することを目的として、「地域環境調査」を実施しました。この報告書は、調査結果を取りまとめたものです。

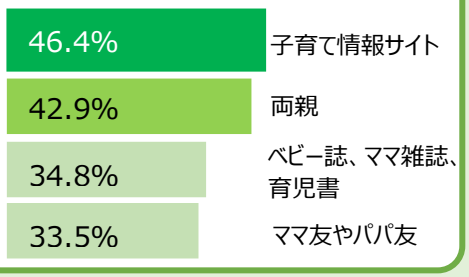
《調査概要》

- 調査方法：インターネット調査 《 回答総数 227 件 》
- 調査対象者：現在、佐世保市にお住まいで子育て中の保護者（20～49 歳の方）
- 調査期間：平成 28 年 8 月 26 日（金）～9 月 19 日（月）

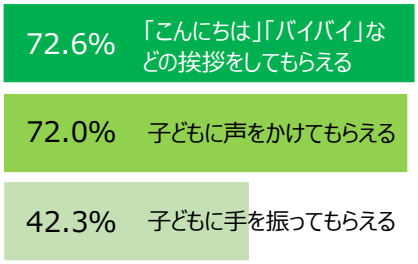
《出産・子育て情報で頼りにしているもの》



《子育て等の悩みなどで頼りにしているもの》



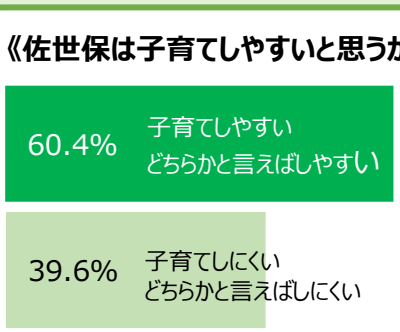
《佐世保での子育てで感じること》



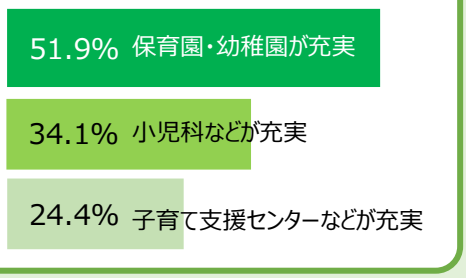
出産や子育て情報で最も頼りにしているのは「子育て情報サイト」ですが、悩みとなると「両親」との回答の割合が 2 番目に高くなっています。

一方、佐世保市は子育てしやすいかとの質問には、60%の方が子育てしやすいと回答されており、その理由は「保育園・幼稚園が充実」「子育てを手伝ってくれる親が近くにいる」「自然環境が良い」となっています。

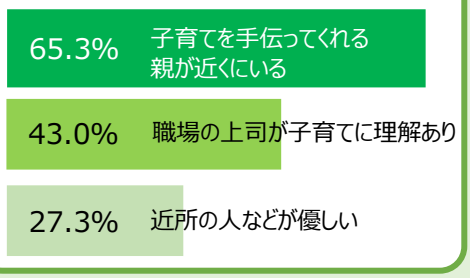
《佐世保は子育てしやすいと思うか》



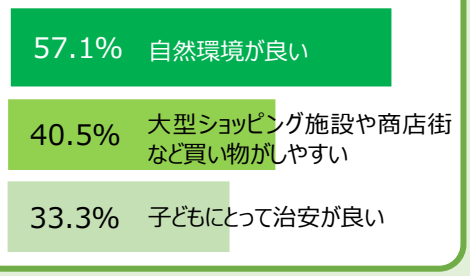
《子育てしやすいと思う理由：サービスなど》



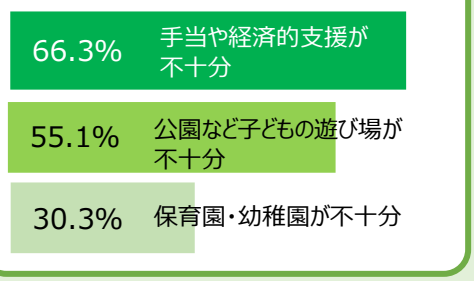
《子育てしやすいと思う理由：人のつながり》



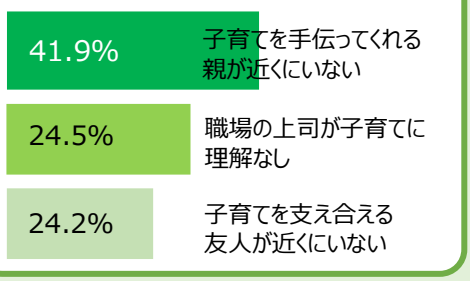
《子育てしやすいと思う理由：生活環境》



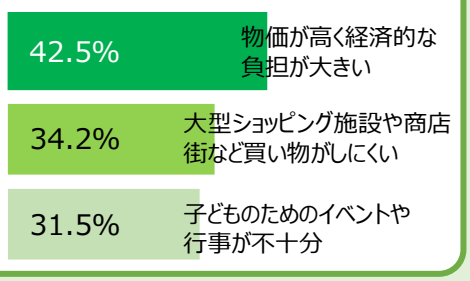
《子育てしにくいと思う理由：サービスなど》



《子育てしにくいと思う理由：人のつながり》



《子育てしにくいと思う理由：生活環境》



佐世保市役所 子ども未来部 子ども政策課

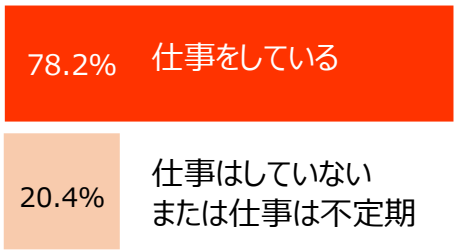
2016年 「子育てと仕事の両立に関する調査」集計結果報告書

佐世保市では、様々な環境の変化に対応するため、子どもと子育てに関するあらゆる意識や実態を把握することを目的として、「就労環境調査」を実施しました。この報告書は、調査結果を取りまとめたものです。

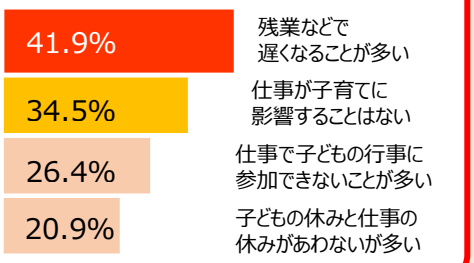
《調査概要》
- 調査方法：インターネット調査 《 回答総数 216 件 》
- 調査対象者：現在、佐世保市にお住まいで子育て中の保護者（20～49 歳の方）
- 調査期間：平成 28 年 8 月 26 日（金）～9 月 19 日（月）

母親

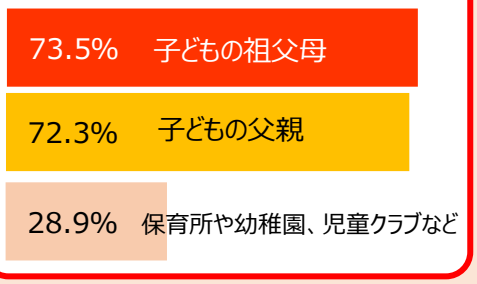
《 母親は仕事をしているか 》



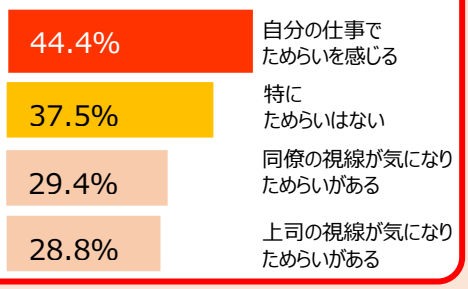
《 母親の仕事で当てはまること 》



《母親が残業や出張の際の子育て》

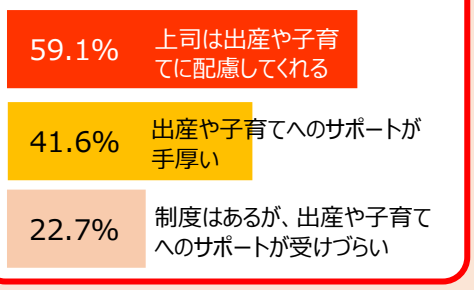


《母親が子育てで仕事を休むことへの職場の雰囲気》



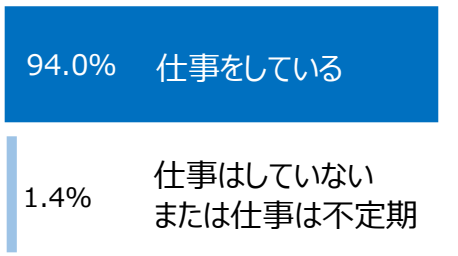
残業や出張の際の子育てについては母親の場合は、祖父母のサポートとの回答が最も多く、父親の場合と状況に差があることが分かります。
一方、職場での子育てへのサポートについては、父親の場合は母親よりも相対的にサポートが受けづらい雰囲気にあることが分かります。

《母親の職場の子育てへのサポート》

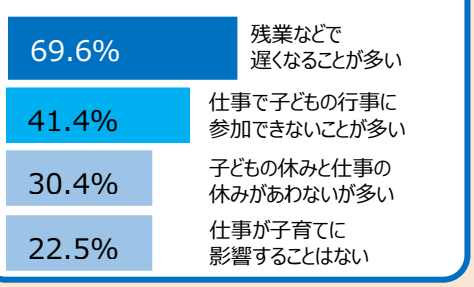


父親

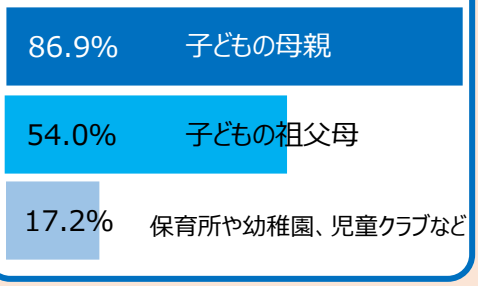
《 父親は仕事をしているか 》



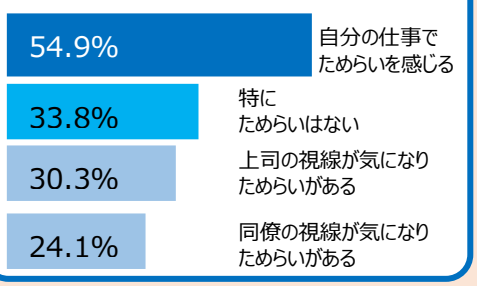
《 父親の仕事で当てはまること 》



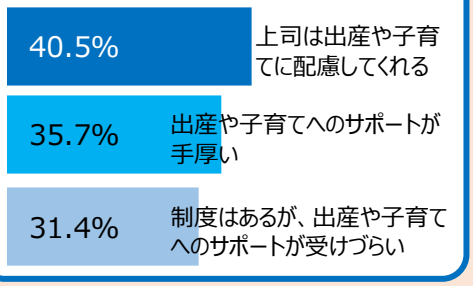
《父親が残業や出張の際の子育て》



《父親が子育てで仕事を休むことへの職場の雰囲気》



《父親の職場の子育てへのサポート》



佐世保市役所 子ども未来部 子ども政策課

2016年

「子育て世帯の理想像に関する調査」集計結果報告書

佐世保市では、様々な環境の変化に対応するため、子どもと子育てに関するあらゆる意識や実態を把握することを目的として、「理想像調査」を実施しました。この報告書は、調査結果を取りまとめたものです。

《調査概要》

- 調査方法：公立保育所等の保護者へ配布 《 回答総数 233 件（回答率 72.4%）》
- 調査対象者：現在、佐世保市にお住まいで子育て中の保護者（20～49 歳の方）
- 調査期間：平成 28 年 8 月 26 日（金）～9 月 12 日（月）

《 思い浮かべる実在の街の「子育てしやすい」ところ 》

・保育料 2 人目以降が無料（大村市他）
・月 1 で身体測定がある（西海市）
・医療費の負担が少ない（福岡市他）
・産婦人科と小児科の連携があり相談しやすい（大分県）
・雨天時でも遊べる施設が充実している（福岡市）
・「学びの 21 世紀塾」という市営の塾がある（大分県豊後高田市）
・病院や公園の数が多く、交通の便も良い（福岡市）
・子育て中のママでも働く選択肢が多い（京都市）

《イメージとして思い浮かべる街の「子育てしやすい」ところ》

・病後児保育（病院）と保育園が連携している
・ママ、プレママや友人と出会える場、情報が得られる場がある
・道が整備されている
・職場復帰がしやすい
・企業が育児に理解があり、男性社員の育児参加が普通
・育児休暇や看護休暇が取りやすく時間の融通がきく
・地域の方の優しさや厳しさなどの見守る目がある
・母子家庭でも周りが協力してくれる

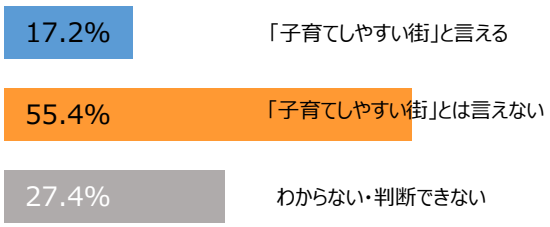
思い浮かべる街の子育てしやすいところとしては、保育料や医療費の負担が少ないことや、雨天時に遊べる屋内施設が充実している等のご意見が多かったです。

他にも、街としての子育て環境の充実や職場環境、周囲からの協力に関するご意見がありました。

同様のことが、佐世保市にも求められています。

佐世保市は「子育てしやすい街」ではないというご意見が多かったですが、待機児童の少なさや、周りの人との関係性の良さ、自然の多さ等、子育てしやすいというご意見もありました。

《佐世保市は子育てしやすい街？》



《 佐世保市の子育てしやすいところ 》

・待機児童が少ない。
・園の先生方や保護者同士話し合える環境がある。
・子育て支援センターや、園開放等でお友達ができました。
・星きらり、海きらら、森きらら等、遊べるところがたくさんあります。
・福祉医療費が中学生まで拡大されたところ。
・外出すると、よく声をかけてくださり、やさしい方が多いなあ・・・と感じています。
・自然がいっぱいで、子どもを遊ばせやすい。

《 佐世保市の子育てで不十分なところ 》

・経済的な助成が少ない
・安心して遊べる場所が少ない
・子育て支援のサービスが少ない
・保育所等に預けにくい（特に年度途中）
・地域交流するような場所が少ない
・子育て家族に対する周りの目が厳しい
・子育ては母親がするものという空気がある
・給料が少ない

《 その他のご意見 》

・佐世保市は子育てしやすいです。
・子沢山は、その家族の勝手かもしれないが…
それをフォローして子どもを育てやすくしてくれる街になって欲しい。大好きな、佐世保だからこそ♡
・ベビーカーが通れない歩道が多く、どうしても車道に出ざるをえない。
・子どもの熱などで休みを取りづらい。
・男性の育児参加がさらに進むともっと良くなると思う。
・私の子供は未熟児で生まれて発達に遅れがありますが、子ども発達センターや市立保育所で手厚く対応して頂いているところです。安心して子育てが出来ています。

佐世保市役所　子ども未来部　子ども政策課